



(ISC)²とSSSCP資格のご紹介

(ISC)²と主な認定資格

(ISC)² (International Information Systems Security Certification Consortium)は、1989年米国で設立されたNPOで、世界160ヶ国以上で16万人を超えるメンバーがいます。日本のメンバー数は約3000名です。



世界各国で約15万人が保有する、情報セキュリティ専門家資格のグローバルスタンダードです。



日々の業務に必要な情報セキュリティの体系的な理解を認定する資格。ネットワークエンジニア・システムエンジニアなどにおすすめです。



クラウドサービスを安全に利用・運用するためのスキルを認定する資格。2020年4月より日本語で受験が可能となり、資格保持者が増えてきています。

(ISC)²の資格の特徴

(ISC)²の資格は、テクノロジーを理解していることに加え、「(ISC)²資格保持者としての考え方」を身に付けていることが求められます。

「(ISC)²資格保持者としての考え方」の例

- 情報セキュリティマネジメントは、適切なポリシー、スタンダード、プロシージャ、ガイドラインが実装され、業務が許容範囲内のリスクレベルで確実に実施されていることを検証するものである
- セキュリティは、組織のビジョン、ミッション、事業目標をサポートし、実現することを目的とする

「民間の資格」であること

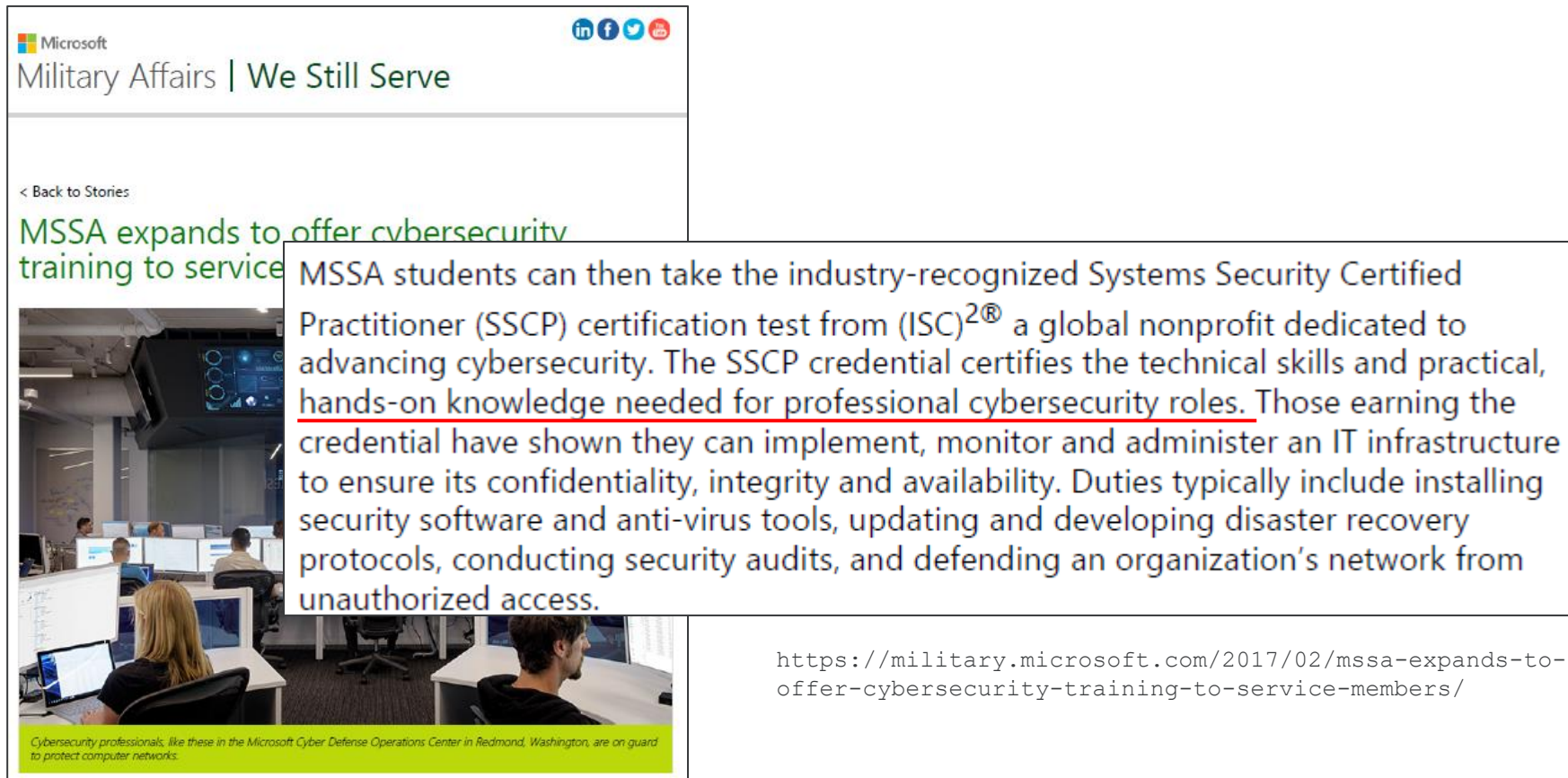
- (ISC)²は、CBK(共通知識分野)として「セキュリティの考え方」を提示し、その考え方を理解している人を資格者として認定しています。
- 企業は「CBKを理解した資格者はビジネスに有益である」と考え、積極的に採用するようになってきました。
- 求職者にとっては、良い職を得ることができる、ということから、資格を取得する人が増えてきました。
- (ISC)²の資格はISO/IEC 17024(要員認証機関の認定)を受けており、本当にスキルがある人だけが資格を取得できるように、厳格な管理が行われています。例えば、(ISC)²の試験問題作成チームと教育コンテンツ作成チームは完全に分離されています。

英国でBT (British Telecom)がCISSPとSSCPを社員教育に採用



MicrosoftがSSCPを活用して米軍に教育を提供

- MSSA (Microsoft Software & Systems Academy)が、SSCPを実践的な資格として認め、米軍への教育に採用しています。



Microsoft
Military Affairs | We Still Serve

< Back to Stories

MSSA expands to offer cybersecurity training to service members

MSSA students can then take the industry-recognized Systems Security Certified Practitioner (SSCP) certification test from (ISC)²® a global nonprofit dedicated to advancing cybersecurity. The SSCP credential certifies the technical skills and practical, hands-on knowledge needed for professional cybersecurity roles. Those earning the credential have shown they can implement, monitor and administer an IT infrastructure to ensure its confidentiality, integrity and availability. Duties typically include installing security software and anti-virus tools, updating and developing disaster recovery protocols, conducting security audits, and defending an organization's network from unauthorized access.

Cybersecurity professionals, like these in the Microsoft Cyber Defense Operations Center in Redmond, Washington, are on guard to protect computer networks.

<https://military.microsoft.com/2017/02/mssa-expands-to-offer-cybersecurity-training-to-service-members/>

ホワイトペーパー 「CISSPs and SSCPs Working Together」



Certified Information
Systems Security Professional



Systems Security
Certified Practitioner

CISSPs and SSCPs Working Together:

Creating a Culture of Security

サイバーセキュリティ人材の市場では、CISSP®が依然として高い需要を保っています。労働力調査会社のパーニング・グラス・インターナショナル社のデータによると、当時、在米のCISSP 取得者が約 6 万人であったにもかかわらず、米国企業による CISSP 取得者に対する求人は 5 万件もありました。この数字から類推できるように、情報セキュリティリーダーの需要は供給を上回っています。

サイバー脅威と攻撃の多様性が増加し、また巧妙さが進化するという現実を前にしている現在、**脅威に対抗するにはチームの力が必要です**。CISSP はこのチームの一員にすぎません。多くの組織において、サイバーセキュリティの最前線では、セキュリティ実務者としての SSCP®が求められています。SSCP は、サイバー攻撃を防御し、IT システムの運用全体にわたってセキュリティを実装し、維持する技術知識を有しています。

CISSP と SSCP、どちらの資格があなたに合っているか判断するためには、サイバーセキュリティの専門家たちが組織内で果たすミッションがそれぞれに異なっているということを知る必要があります。

1. SSCP と CISSP の役割は補完的です - SSCP は、CISSP が決定したセキュリティポリシーとプロシージャを実装します。システムアナリストやアドミニストレータ、ネットワークアドミニストレータなどの職種には、SSCP が持つセキュリティの知識が不可欠です。エンタープライズセキュリティプログラムのあらゆる側面を設計、実装、管理する CISO、セキュリティディレクタ、ネットワークアーキテクトには CISSP が適しています。大きな組織では SSCP と CISSP は異なる組織に所属することがありますが、同じセキュリティ戦略に基づいて行動します。多くの場合、SSCP の上司は課長や部長ですが、CISSP の上司は経営層です。小規模または中規模の組織は CISSP がいないこともあり、そのような場合は SSCP がセキュリティの設計と実装の両方の役割を担うことがあります。

1. SSCPとCISSPの役割は補完的です。
2. SSCPはITに特化し、CISSPはビジネスのセキュリティを保証します。
3. SSCPは、セキュリティへの影響を判断するCISSPをサポートします。
4. SSCPとCISSPは共に脅威に立ち向かいます。
5. SSCPとCISSPはセキュリティ文化を定着させます。

https://japan.isc2.org/whitepaper_2021.html

SSCPチャレンジセミナー



- (ISC)²では、定期的にSSCP資格に関するセミナーを開催しており、録画版はいつでもご視聴頂けます。
- SSCP資格についての説明に続き、(ISC)² 認定講師がSSCPの7ドメインの中から要点をピックアップして講義します。
- 録画版のご視聴は、[こちら](#)

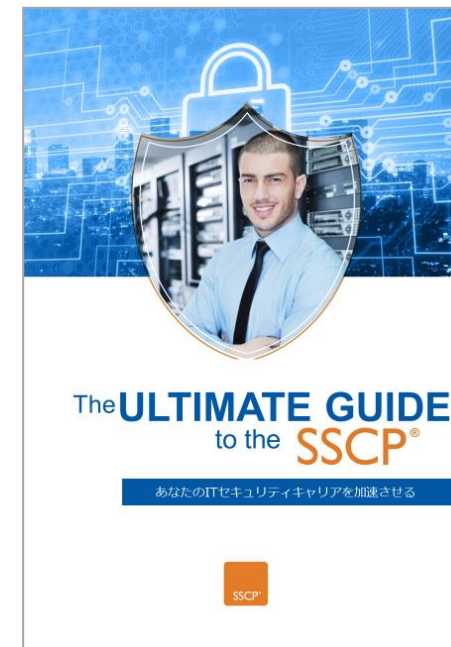
A promotional graphic for the SSCP Challenge Seminar 2021. It features a dark green background with white text. At the top left is the (ISC)² logo. Below it, the text reads 'Online Information Session 2021', 'SSCPチャレンジセミナー', and '2021年9月27日(月)'. At the bottom, there are two columns of information. The left column shows a photo of the presenter, Anoda Ryo, with the text 'Presenter: 安田 良明, CISSP, SSCP (ISC)² 認定講師'. The right column shows a photo of the moderator, Koyama Keiichi, with the text 'Moderator: 小熊 慶一郎, CISSP (ISC)² Director of Business Development, Japan'.

SSCPのドメイン

SSCP[®]

1. セキュリティの運用と管理
2. アクセス制御
3. リスクの特定、モニタリングと分析
4. インシデントレスポンスとリカバリ
5. 暗号
6. ネットワークと通信のセキュリティ
7. システムとアプリケーションのセキュリティ

SSCP Ultimate Guide



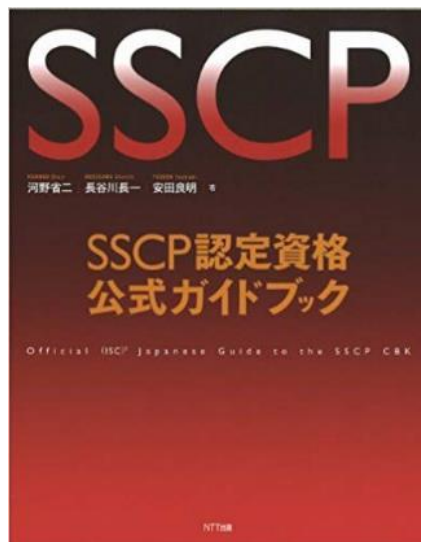
ダウンロード

2021年11月1日より、SSCP試験で出題される内容は新しい試験の概要に基づいて行われます。詳細については、[SSCP認定試験の概要](#)と[よくある質問](#)をご覧ください。

SSCPの参考書

- 公式ガイドブックは若干古いですが、「セキュリティに対する考え方」は変わっていません
- また、ドメインガイドブックには出題範囲とサンプル問題が載っていますので参考にしてください

公式ガイドブック



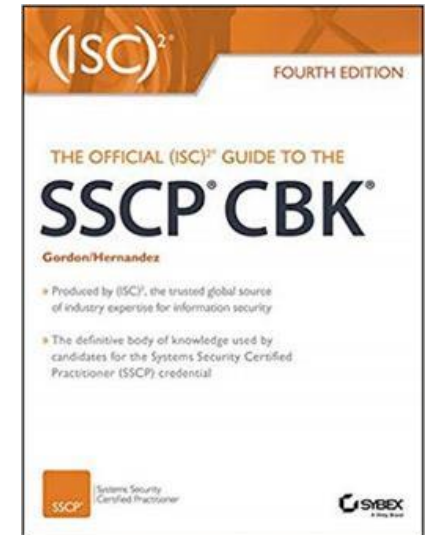
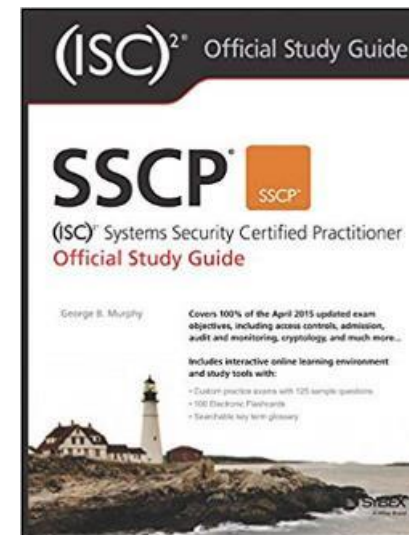
詳細は、[こちら](#)

ドメインガイドブック



ダウンロード

英語版教材



SSCP試験



認定試験の概要



- 日本語で受験可能 (英語併記)
- CBT (PCで受験) ・ 3時間
- 125問 ・ 多肢択一
- 1000点中700点で合格
(スケールドスコア)

受験会場



Pearson VUEで
申し込み・受験

受験費用

\$250USD

認定試験の概要(Exam Outline)がダウンロードできます。

英語版: <https://www.isc2.org/-/media/ISC2/Certifications/Exam-Outlines/2021/SSCP-Exam-Outline-English-Nov-2021.ashx?>

日本語版: <https://www.isc2.org/-/media/ISC2/Certifications/Exam-Outlines/2021/SSCP-Exam-Outline-Japanese.ashx?>

必要な経験(認定要件)とエンドース(推薦)

- (ISC)²倫理規約への合意 - <https://www.isc2.org/Ethics>
- SSCPドメインのうち1つ以上に関する1年以上の業務経験
- (ISC)²メンバーからのエンドース(推薦)
- SSCPの認定条件を満たしていない人は、SSCP試験を合格した場合は「準会員(Associate)」となります。その後2年以内に認定要件を満たせばSSCPとなることができます。

Exam Action plan



ダウンロード

資格の維持

- 3年で60CPEクレジット (継続教育)
 - カンファレンス参加やトレーニング受講など、1時間あたり1CPEクレジットとしてカウントされます。
 - (ISC)² Japan Chapterのメンバーとして活動に参加すると、ChapterがCPEクレジットを登録してくれます。
 - (ISC)²からも、WebinarやPDI(オンライン学習)などのCPEクレジットの取得機会を提供しています。
 - CPEガイドライン: japan.isc2.org/member_cpecredit.html
- 年会費(\$125USD)の支払い
- 準会員の場合は15CPE・会費\$50USD

グローバルの資格であること

- 海外で情報セキュリティの仕事をするのであれば、(ISC)²の資格を持っていることが前提、と言われます。
- 外国とコミュニケーションをとる可能性がある方は、是非資格を取得していただきたいと思います。
- 特にユーザ企業に所属している人は、名刺交換の際に会社名だけではITスキルがあることが伝わらないので、「CBK(共通知識分野)」を理解していると分かってもらえる資格は有益です。



Thank You

資格やトレーニングについては下記までお問い合わせ下さい。

infoisc2-j@isc2.org